

1. 前年度決算との比較

(1) 資金収支（収入の部）

① 収入合計

前年度比 1,923 百万円減少（50%減）の 1,918 百万円となる。

前年度預け金取引 2,100 百万円の影響による。

② 学納金収入・・・前年度比 102 百万円増加（11%増）の 1,022 百万円となる。

・大学部門で 126 百万円の増加。

③ 寄付金収入・・・50 百万円となる。

④ 補助金収入・・・前年度比 10 百万円減少の 422 百万円となる。

・高校部門で 50 百万円の減少。

・大学部門で 40 百万円の増加。

⑤ 退職金財団交付金収入（雑収入）・・・前年度比 64 百万円減少の 26 百万円となる。

（退職金支出も減少している）

⑥ 前受金収入・・・前年度比 38 百万円増加の 263 百万円となる。

・大学部門で、42 百万円の増加。

(2) 資金収支（支出の部）

① 支出合計

前年度比 2,035 百万円減少（52%減）の 1,916 百万円となる。

収入同様、前年度預け金取引 2,100 百万円の影響による。

② 人件費支出（退職金支出除く）・・・前年度比 48 百万円減少の 658 百万円となる。

・大学部門で、20 百万円の増加。

・高校部門で、67 百万円の減少。

・法人本部で、1 百万円の減少。

③ 退職金支出・・・前年度比 92 百万円減少の 45 百万円となる。

・大学部門で、退職者増加により、11 百万円の増加。

・高校部門で、退職者減少により、100 百万円の減少。

④ 教育研究経費支出（奨学費支出除く）・・・前年度比 47 百万円増加の 356 百万円となる。

・大学部門で、学生数増加、別科経費、修繕費などにより、50 百万円の増加。

⑤ 奨学費支出・・・前年度比 59 百万円減少の 155 百万円となる。

・大学部門で、40 百万円の減少。

・高校部門で、18 百万円の減少。

⑥ 管理経費支出・・・前年度比 131 百万円増加の 347 百万円となる。

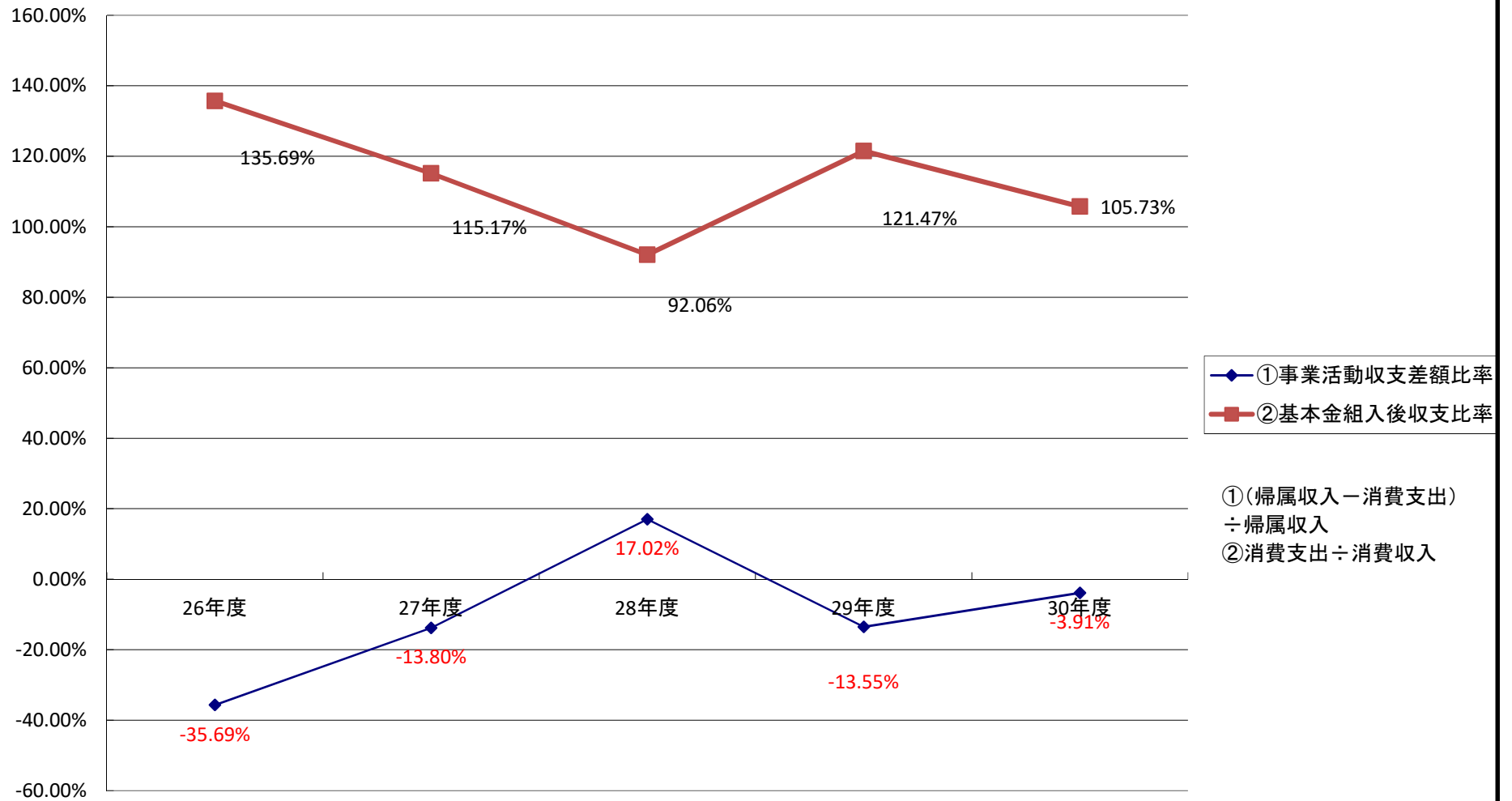
- ・ 大学部門で、学生数増加、別科経費などにより、65 百万円の増加。
 - ・ 高校部門で、派遣職員の増加などにより、17 百万円の増加。
 - ・ 法人本部で、48 百万円の増加。高校建築申請 32 百万円など。
- ⑦ 施設関係・設備関係支出・・・前年度比 53 百万円減少の 47 百万円となる。
- ・ 施設関係で、大学部門の第二期施設改修工事が終了し、法人本部で国有地取得 25 百万円が主な項目となる。

2. 平成 30 年度決算の総括

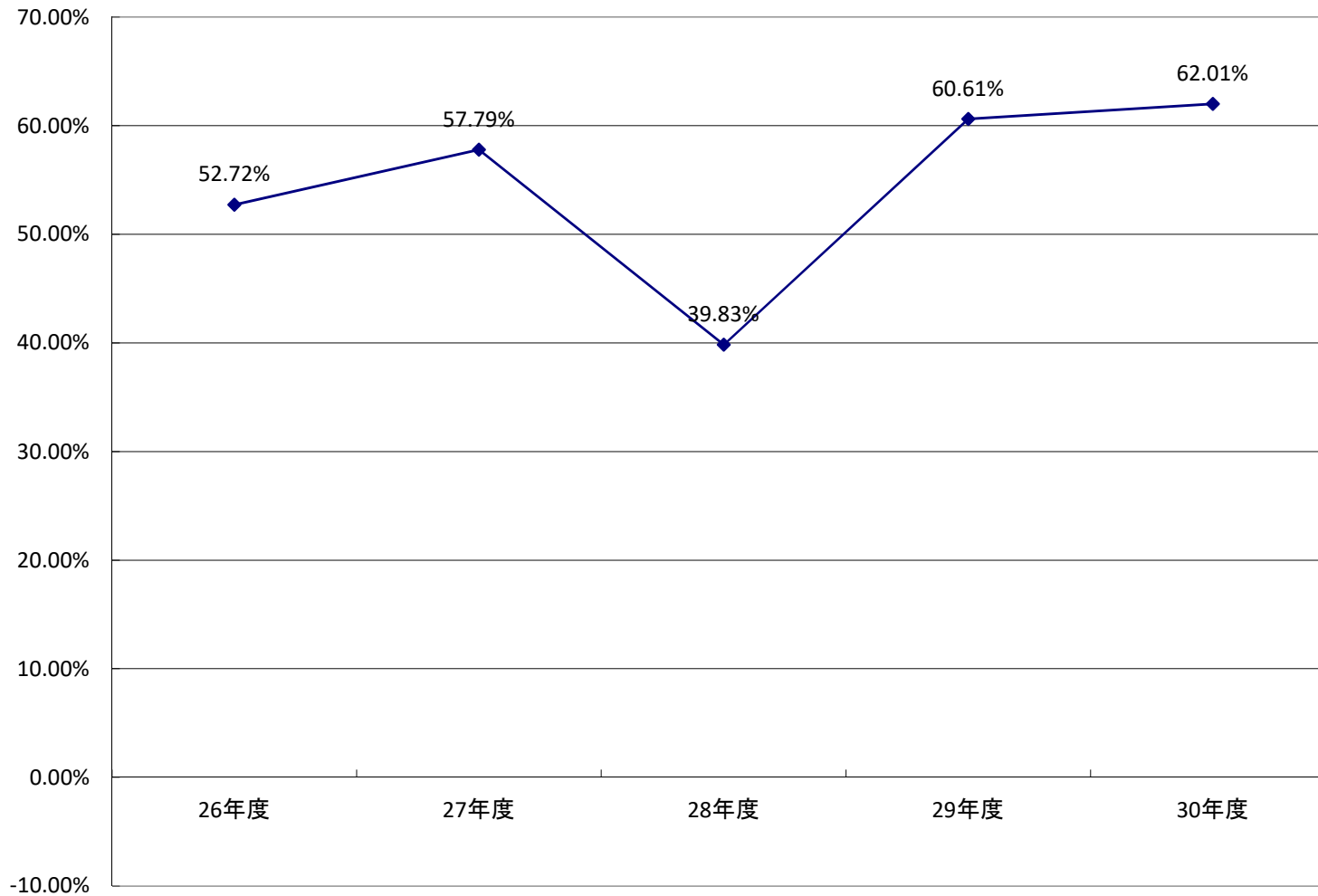
- ・ 資金収支は、上記の説明のとおり、収入合計は 1,918 百万円、支出合計は 1,916 百万円となり、資金収支差額は 2 百万円の黒字となる（前年度比 112 百万円増加）。
結果、翌年度繰越支払資金は、3 百万円増加の 140 百万円となる。
- ・ 単年度の資金収支（当年度に含まれる前年度や次年度の収入、支出を除いた資金収支）は、収入合計は 1,638 百万円、支出合計は 1,608 百万円となり、単年度の資金収支差額は 30 百万円の黒字となる（前年度比 197 百万円増加）。
- ・ 事業活動収支は、教育活動収入合計は 1,647 百万円、教育活動支出合計は 1,711 百万円となり、教育活動収支差額は 64 百万円の赤字となる（前年度比 146 百万円増加）。
経常収支差額も、64 百万円の赤字となる（前年度比 146 百万円増加）。

以 上

財務比率 -その①-



財務比率 -その②-



帰属収入に対する比率

◆ 学生生徒等納付金比率

① $\text{学生生徒等納付金} \div \text{帰属収入}$

財務比率 -その③-

